



2024年 7月19日  
第9号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申  
第40号

## 駅派出検査体制等の見直しに関する申し入れ 団体交渉④

鎌倉車両センター横浜派出所及び大船ホーム検査

鎌倉車両センター逗子派出所

### 鎌倉車両センター横浜派出所及び大船ホーム検査

7. 車両検査係の本線への出場は、室内や軽微な作業を除き2名以上を基本とすること。  
【会社回答】安全安定輸送を確保するために、引き続き関係箇所と連携して対応していく考えである。

組合	会社
出勤時に、「2名体制であったなら」というシナリオも今後検証すること。	体制変更した後も状況の検証は実施する。
2名いなければという事態になった場合、増援者が到着するまで抑止する体制をとること。またそれによる遅れについて責任は問わないことを認識一致させたい。	作業者の安全が第一。そこについては認識一致している。 <b>認識一致!</b>
派出の他、大宮総合車両センターで行っているように本区で日勤の1名は直ぐに出勤できる体制は考えていないのか。	現状では考えていない。先ほどから申し込んでいるが、1名で対応できないような場合は本区や他区から応援という形。

### 鎌倉車両センター逗子派出所

1. 実施に向けたトライアルについては、受注側のJETS作業責任者の不安の無いよう、必要な設備やツールについて、JR 本  
体も責任を持って準備を行うこと。  
【会社回答】施策実施に向けた必要な準備を進めているところである。

組合	会社
JETS作業責任者から不安の声は上がってきていないか。	不安があるとは聞いていない。
F券の発行など作業責任者の作業量が増えるが、それについても不安の声は出ていないか。	F券は作業責任者が発行する。発注に関しては、鎌車セ構内から逗子A番が発行、依頼という形になる。現段階では流利的にも問題でないと判断。
3回のトライアルを実施。派出と違い、前々から検証していたという事はないと思うが、どうなのか。	検証というよりもバックアップ体制について。逗子A番は今まで1名で泊まっていた。構内には副長含め当直2名、車両運用の面で見ても、構内で進めた方が効率的と判断しての今回の提案となっている。
作業責任者不在時間帯の受発注についてどのように対応する考えか。	休憩中とはいえ連絡は取れる。そのような時は、 <b>超勤対応</b> でおこなう。
提案時に、会社としてもJETS側の作業責任者の負担増加の懸念を持っていた。本体都合の施策、既存のTELやFAX以外に新たに新設するツールはあるのか。	検討段階ではあるが、Joi-Tabを貸与予定。運用整理時には、今まで対面で行ってきた事をFaceTime等で繋いで呼び出せるように検討している。通常時は既存のTEL、FAXで対応。

その⑤へ続く